

せんじゅの^{ともしび}灯

酒 泉 彰 作詞
加羅古呂庵 一泉 作曲

2022.11.7 作曲

尺八 1尺8寸管

口 ピ

箏I 花雲調子

三 一 三 五 七 九 斗 為 巾

箏II 花雲調子

三 一 三 五 七 九 斗 為 巾

十七絃

二 三 五 七 九 1 3 5 7

運指、奏法については、適宜工夫していただいでけっこうです。

せんじゆの灯^{ともしび}

北海道の北見市に、ご主人とおかみさんが切り盛りしている居酒屋があります。名前を「せんじゆ」といいます。

このお店に、毎年秋になると、変な3人組がやって来ます。羽田からの飛行機もバラバラ、宿もバラバラなのですが、なぜか北見の夜に「せんじゆ」に集まって来るのです。道東の自然や人とのつながりに惹かれて、もう何年も訪れているので、北見の街や周辺の自然は故郷のように感じられます。そして、「せんじゆ」で、付箋紙に書かれたメニューを見ながらつまみを注文しては、ビールとノンアルコールビールで談笑するのが楽しみになっています。

また来年も来ようと語りつつ、3人が店を後にすると、北見の街に寒さがやってきます。

街中を吹き抜ける風爽やかに 澄み渡る青空高く雲白し
 木々の葉は赤に黄色に織りなして 透明な水面に映える常呂川^{ところがわ}
 懐かしい北の大地が呼んでいる 美しい白樺並木が我を呼ぶ
 鳥たちが秋の日差しを浴びながら 紅葉の山から迎えに飛んでくる
 悲しさもここに来れば癒される 永久の友^{とわ} せんじゆに集う嬉しさや

夕暮れが日ごと深まる秋の色 山の端が茜に滲む西の空
 静かなる北見の空に白き月 金色の一番星も輝ける^{こんじき}
 麗しい北の大地が待っている 暖かく迎えてくれるわが街よ
 見るほどに心清まる秋の空 星たちが静かに見守るふるさとよ
 友情を幾重に紡ぐ仲間たち わがせんじゆ 心の灯^{ともしび} いつまでも

©2022 酒泉 彰

※縦譜につきましては、当該楽器のほかに他の楽器のパートを補助的に記載しています。ただし、複数のパートを集約し、オクターブも変えているところがあります。正確には、加羅古呂庵ホームページの「作品リスト」より五線譜（スコア）をご参照ください。

加羅古呂庵ホームページ

